

Bluetoothワットチェッカー REX-BTWATTCH1 ユーザーズマニュアル（アプリの使い方）

※このマニュアルではアプリケーションの使い方や便利な機能について説明します。設置の方法については『セットアップガイド』をご参照ください。
※本文ではiPhoneやAndroidスマートフォン、タブレットなどを「スマホ」と記載しています。また、記載している内容は本紙制作時点のものです。
アプリのバージョンアップ等により名称、画面など変更されている場合があります。

対応機種

Bluetoothを搭載した下記のスマートフォン・タブレット・パソコン
・ Android 4.0以降 ・ iOS 6以降 ・ Windows 10・8.1・8・7・Vista（32ビット・64ビット両対応）



スマホ/タブレットで使う場合

1 本製品と接続する

(1) アプリを起動します。



(2) デバイスの一覧に[BTWATTCH1]が表示されたら、選択して[接続]をタップします。

※表示されない場合は、[検索]をタップしてください。※最大4台まで登録できます。

< iOSの場合 >

接続可能なデバイスを検索

デバイス: BTWATTCH1 | バージョン: | 状態:切断

接続

消費電力: | 計測値

接続

消費電力: | 状態:切断 >

設定画面に移動

環境設定 | メール送信

ファームウェアのバージョン

グラフ画面に移動

本製品の状態を以下のように表示

- 計測中 : 計測状態
- 計測停止 : 本体とスマホは接続しているが、計測は停止状態
- 切断 : 本体とスマホが接続していない状態
- 情報取得中 : 本体の"状態"を確認中

< Androidの場合 >

BTWATTCH1 | バージョン: | 状態:切断

接続

消費電力: | 計測値

接続

消費電力: | 状態:切断 >

設定画面に移動

ファームウェアのバージョン

グラフ画面に移動

本製品の状態を表示

- 計測中 : 計測状態
- 計測停止 : 本体とスマホは接続しているが、計測は停止状態
- 切断 : 本体とスマホが接続していない状態
- 情報取得中 : 本体の"状態"を確認中

以上で接続完了です。

2 本製品を使う

2-1. 計測を開始/停止する ※画面はiOSの場合です。Androidでは画面が若干異なります。

< 計測を開始する >

(1) [計測開始]をタップ

※計測したデータは、本体に保存されます。



(2) "計測中" と表示されれば、計測を開始しています。



以前の計測データが保存されていると、計測開始時に右のメッセージが表示されます。今までの計測データを削除したい場合は、[消去して開始]をタップしてください。



< 計測を停止する >

(1) [計測停止]をタップ



(2) [はい] をタップ



(3) "計測停止" と表示されれば、計測は停止しています。





スマホ/タブレットで使う場合

2-2.計測データを確認する

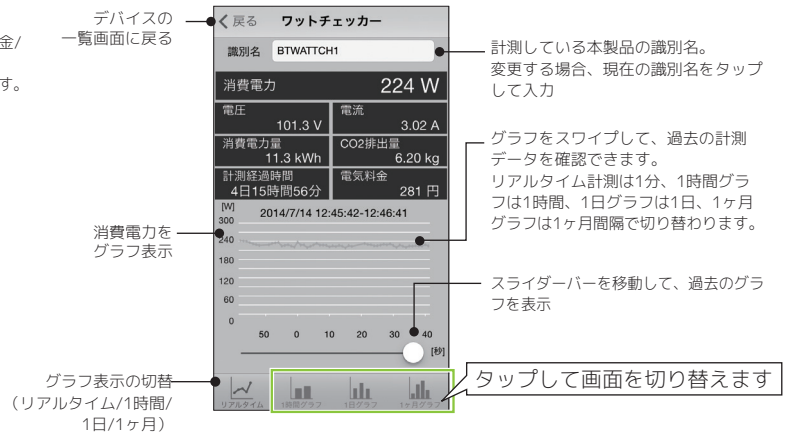
本体に接続した電気機器の現在の消費電力や、累計の電力量などをリアルタイムと1日/1時間/1ヶ月のグラフで確認できます。

※本製品との接続状態が切断の場合、計測データは確認できません。
※画面はiOSの場合です。Androidでは画面が若干異なります。



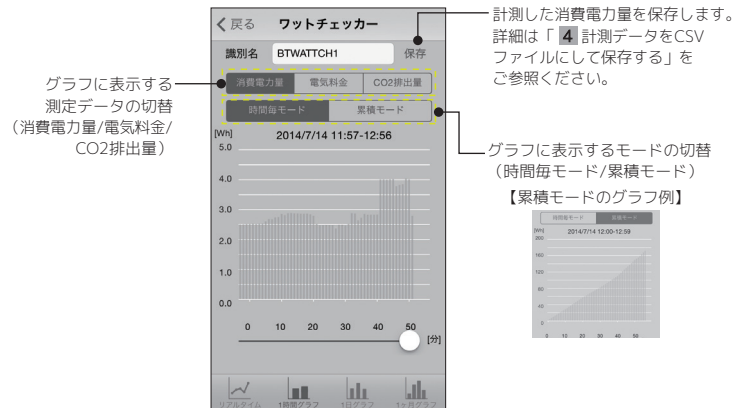
<リアルタイム計測>

※消費電力/電圧/電流は1秒ごと、消費電力量/CO2排出量/電気料金/計測経過時間は1分ごとに更新されます。
※通信環境により、1秒間隔でグラフの点が表示されない場合があります。



<グラフ表示>

※ここでは、例として1時間グラフの画面で説明します。



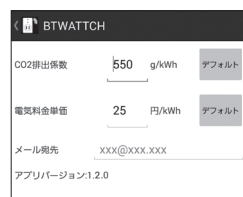
3 設定を変更する

デバイスの一覧画面で[環境設定]をタップします。
電気料金やCO2排出量を割り出すための数値や、計測結果をメールで送るときの宛先を設定できます。

<iOSの場合>



<Androidの場合>



CO2排出係数/電気料金単価 (初期設定) CO2排出係数: 550g/kWh 電気料金単価: 25円/kWh	リアルタイムやグラフのCO2排出量や電気料金を計算するための数値を設定します。
デフォルト	タップすると、「CO2排出係数」や「電気料金単価」それぞれの値を初期設定に戻します。
メール宛先	計測データをCSV形式にして送信するメールの宛先を設定します。
アプリバージョンxx	アプリのバージョンを表示しています。



スマホ/タブレットで使う場合

4 計測データをCSVファイルにして保存する

計測した消費電力量をCSVファイルとして、保存することができます。iOSの場合、メールに添付して送信することができます。Androidの場合、Gmailに添付して送信するか、DropboxやGoogle+に保存することができます。

※メール送信する場合、あらかじめアプリの[環境設定]でメールアドレスの設定をおこなってください。設定方法は「3 設定を変更する」をご参照ください。

<iOSの場合>

- (1) グラフ表示に切り替え、[保存]をタップします。



- (2) ファイル名が入力された状態で表示されます。[OK]をタップします。
※ファイル名は変更可能です。



- (3) デバイス一覧画面に保存ファイルが表示されます。



- (4) デバイス一覧画面の[メール送信]をタップします。メール画面が表示されますので、送信します。



<Androidの場合>

- (1) グラフ表示に切り替え、[保存]をタップし、名前を入力します。



- (2) ファイル名が入力された状態で表示されます。[OK]をタップします。



- (3) デバイス一覧画面に保存ファイルが表示されます。



- (4) デバイス一覧画面の[メール送信]をタップします。



- (5) アプリ一覧が表示されます。「Gmail」、「Dropbox」、「Googleドライブ」のいずれかを選択します。

- (6) Gmailで送信もしくは、DropboxやGoogleドライブに保存してください。

CSVファイルとは?

異なる種類のアプリケーション間のデータ交換に使われるファイル形式です。テキストファイルなので、Excelやテキストエディタなどで開くことが可能です。



パソコンで使う場合

1 本製品と接続する

(1) [アプリ] (Windows7/Vistaの場合は、
[すべてのプログラム]) から
RATOC ワットチェッカーを起動します。



(2) “デバイス一覧”に[BTWATTCH 1]が表示
されるので、選択して[接続]をクリックして
接続完了です。

※表示されない場合は、[検索]をクリックしてください。
※最大4台まで登録できます。

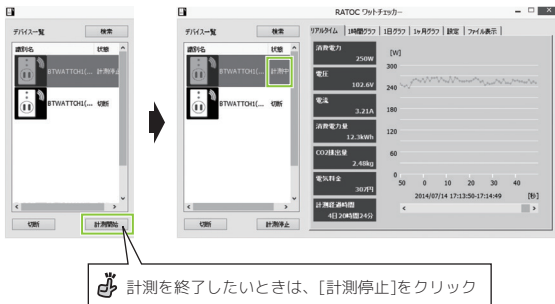


以上で接続完了です。

2 本製品を使う

6-1.計測を開始する

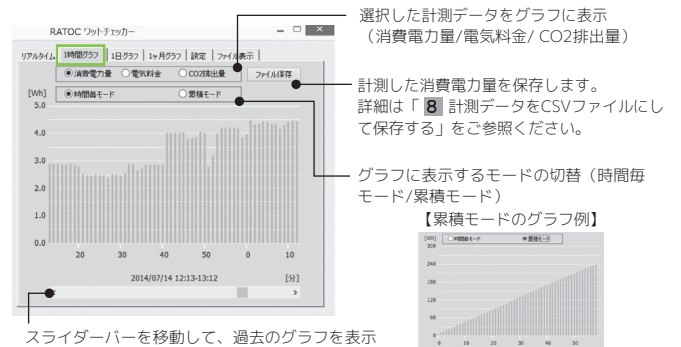
[測定開始]をクリックして、計測を開始します。



6-2.計測データを確認する

タブをクリックして、時間ごと(1時間/1日/1ヶ月)のグラフに切り替える
ことができます。節電した場合に、ひと目で効果が確認できます。

※ここでは、例として1時間の消費電力量のグラフ画面で説明します。



3 設定を変更する

[設定]では計測結果から割り出す電
気料金やCO2排出量の設定、本製品
の識別名など変更できます。[設定]
タブをクリックして開きます。
設定変更後は、[適用]をクリックし
てください。



環境設定	電気料金単価	リアルタイムやグラフの電気料金を計算するための数値を設定します。(初期設定:25円/kWh)
	CO2排出係数	リアルタイムやグラフのCO2排出量を計算するための数値を設定します。(初期設定:550g/kWh)
	デフォルト	クリックすると、「CO2排出係数」や「電気料金単価」それぞれの値を初期設定に戻します。
常駐設定	チェックを入れると、パソコン起動時にソフトウェアも起動します。	
デバイス設定	識別名	一覧画面に表示する本製品の名前を変更できます。
	画像選択	一覧画面に表示する画像を指定できます。
	ファームウェアバージョン	本製品のファームウェアバージョンを表示します。

4 計測データをCSVファイルにして保存する

計測した消費電力量をCSVファイルとして、保存することができます。
グラフ画面の[ファイル保存]をクリックし、名前をつけて保存します。

